

第2回 糸島医師会・福大病院 地域連携学術講演会

テーマ

最新の抗がん剤治療と緩和医療

座長

福岡大学病院 腫瘍・血液・感染症内科 教授 高松 泰

演題

①『がん薬物療法の進歩』

福岡大学病院 腫瘍・血液・感染症内科 講師 田中 俊裕

②『新しい免疫療法』

福岡大学病院 腫瘍・血液・感染症内科 助教 猪狩 洋介

③『緩和ケアにおける痛み止めの使い方』

福岡大学病院 薬剤部 主任 内山 将伸



福岡大学病院 腫瘍・血液・感染症内科では、地域の医療機関と連携を図っていく為に研究の成果や最新の情報を講演会を通して活動を行っています。今回は第2回糸島医師会・福大病院 地域連携学術講演会を平成28年12月14日（水）に開催致しました。テーマは「最新抗がん剤治療と緩和医療」で多数の医療関係者にご参加いただき活発なディスカッションが行われ、下記のようなご意見がありました。

- ・ 化学療法の外来での管理、化学療法認定看護師などの有害事象の対応、来院のタイミング、休日、夜間の対応などととても勉強になりました。（看護師）
- ・ 癌腫ごとの講演会を開いてほしい。（薬剤師）
- ・ 調剤薬局勤務でほとんど抗がん剤の事は分かりませんでした。最近の新しい治療によりがん患者の予後が良く進歩の様子が分かりました。（薬剤師）